

コメビジネス最前線特集：サンエー印刷 タッグ組み魅力伝える

機械・資材・IT 特集 2023.10.11 12659号 11面



コメムスビ

国産米ぬかに含まれる油分を活用した「ライスインキ」で、環境に配慮した印刷技術「SUN-A LOHAS PRINTING」を展開するサンエー印刷は、関連企業とタッグを組んで、コメそのものの魅力を発信するコンテンツ「コメムスビ（商標登録中）」の活動に乗り出した。専用ホームページ（<https://komemusubi.wixsite.com/no-rice-no-life>）と、YouTubeチャンネルを開設し、広く発信している。

コメムスビとは、コメに関する商品やサービスを集めたコンテンツを作成してコミュニティーを形成し、コメの魅力を世の中に発信するもので、コメに関心を持つ企業がつながることによって、最終的には日本の農業を元気にすることを目指し

ている。

目下の主カメンバーは、五ツ星お米マイスターの小池米穀店小池理雄取締役・3代目店主のほか、コメやコメ作りに敬意を込めたTシャツ「米T」を作成・販売する亀吉の小畑麻夫代表、みくに出版の清水智子取締役副社長、コメ由来プラスチックなどのノベルティーを制作するYSC柳貴教代表取締役だ。

PR活動では4月、代々木公園で催された「アースデイ東京」に出展。「NO RICE、NO LIFE」を掲げ、コメ由来ノベルティグッズのプレゼント抽選会など消費者に直接アピールした。BtoBでは11月8～10日、新潟市内朱鷺メッセで開催される「フードメッセinにいがた」内「にいがたお米未来展2023」にブースを構え、コメムスビ参加企業とともに日ごろの活動を報告。セミナーのパネリストも務め、志を共有する企業がつながることで可能となるコメの可能性を模索する。

そもそもライスインキ誕生のきっかけは、同社主要顧客である日能研の高木幹夫代表から「子どもたちの将来のため、国産の米ぬか由来の印刷インキを」と持ち掛けられたことから端を発する。インキメーカーの協力を得て08年、開発・実用化に成功した。

独占を避け幅広い普及を目指す同社では、インキメーカーも一般販売することとし、「ライスインキコンソーシアム」を誕生させた。そのプロセスで、未利用再生資源の米ぬかを活用したバイオマスインキとして、ライスインキを使った印刷物がバイオマス商品に認定され、印刷物に表示することが可能となった。

最初の採用は日能研だが、普及が一気に進んだのは16年の、大手CVSでおにぎり製品のパッケージに採用され、ライスインキのロゴが表示されたことだ。これを機に、コメ関連企業はもとより食品企業の間で、社員の名刺や販促物の印刷などにも拡大している。（佐藤路登世）